

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会				シート番号	011-123
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害施策推進	課 評価責任者(課長名) 小須田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無
	2	事業開始年度	平成 9 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(略称・障害者総合支援法)			
	4	関連計画	第4次障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画・第1期堺市障害児福祉計画			
5	事業実施の経緯	スポーツ・レクリエーションを通じて、障害者が健康や体力の維持増進を図り、社会への完全参加と平等に向かって、積極性と協調精神を高め、障害のない方との交流を通じて相互理解と友好を深めるために実施している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 (実行委員会)			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺市内在住、在勤又は在学の障害者(児)、年齢制限なし			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	障害者の健康の維持増進を図るとともに、多くの人と一緒に楽しみ、障害のない方を含めた市民の交流の場として実施(開催)している。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	開催日 11月3日 開催場所 大泉緑地球技広場 開催内容 50m走、フラフープ玉入れ、糸巻競争、ボール運び、グランドゴルフ、ウォークラリー、フライングディスク、大玉ころがしなど。 参加者数 1200名 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
10	直接実施以外の主な支出先	堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会実行委員会				

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費(a)	千円	3,237	3,248	3,647	3,635	3,249	3,237	3,540
	主な事業費内訳								
	医師報酬	千円	56	56	56	56	56	56	56
	実行委員会負担金	千円	3,181	3,181	3,579	3,579	3,181	3,181	3,472
	役務費	千円		11	12	0	12	0	12
	国・府支出金	千円							
	財源内訳								
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円								
市債	千円								
その他()	千円								
一般財源	千円	3,237	3,248	3,647	3,635	3,249	3,237	3,540	
12	人件費(b)	千円	3,280	3,280	3,280	3,280	3,240	3,240	3,280
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	6,517	6,528	6,927	6,915	6,489	6,477	6,820

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会	シート番号	011-123
-------	----------------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	<p>障害者団体等で構成する実行委員会を組織し、堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会を実施した。令和元年度は、年3回実行委員会を開催し、申し込み方法や種目内容の検討を行った。</p> <p>《大会概要》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第44回堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会 ・令和元年11月3日(日・祝)に大泉緑地球技広場において開催 ・堺市内の障害者(身体障害・知的障害・精神障害)、支援者やボランティア等、約1200名が参加 ・実施種目 50m走・糸巻競争・ボール運び・フラフープ玉入れ レクリエーションイベントとして市民ボランティアによるよさこいソーランや太極柔力球・和太鼓・篠笛 グラウンドゴルフ・フライングディスク・ウォークラリー・大玉ころがし <p>障害者だけでなくだれでも参加でき、交流の場となることで、障害者の社会参加に寄与した。また、大会実施後、11月に実行委員会を行い、令和元年度大会の振り返り及び次年度大会への検討事項の共有を行った。</p>					
	15	参加人数	人	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標値	1,260	1,400	1,400
				実績値	1,415	1,310	1,274
				達成率	112%	94%	91%
				評価	良い	普通	普通
			算出方法・設定根拠など	前年参加者数以上			
	16		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標値			
				実績値			
				達成率			
				評価			

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	参加人数	人	1,415	1,310	1,274
	②	上記①にかかる年間経費	千円	6,528	6,915	6,477
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	4,613	5,279	5,084
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)
19		<p>長年に渡り、当該大会を開催し、参加者にとって貴重なスポーツ・レクリエーションの機会として定着しているが、令和元年度については、29年ぶりに会場変更(大仙公園→大泉緑地)となったこと、開催日が日曜日(参加する障害者事業所等の休日)となることで参加者が減少となり、目標を達成することができなかった。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会	シート番号	011-123
-------	----------------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○ 上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 障害のある方とない方の市民交流の場の機会の一つが減ることになり、障害者の社会参加の機会を奪ってしまうことになる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止としたが、当該大会は毎年1000名を超える参加があり、年に1回の開催を待ち望まれているものであるため、事業を休止した場合、障害者の社会参加を妨げてしまう。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 当該大会会場運営にあたり、詳細なマニュアル作成や参画する団体の役割等の明確化により、当日の市職員の出務を半数以下に縮減することができたが、さらに、当日の警備員の配置や送迎バスのルート見直し等によりコストを縮減していく。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 開催にあたっては新型コロナウイルス感染症の感染対策が必要となる。しかし、当該大会は野外で開催され、1000人程度の規模であるが、参加者の障害の状況により密接状態での介助が必要な場合やマスクの着用が困難な場合があり、参加者同士の密回避が困難であるため、本事業においては3密を避けることは困難であると考えられる。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (スポーツ推進課) 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 ①(改善済み)民間・市民協働という手法を用い、障害者団体等で実行委員会を構成し、当日の運営にも様々なボランティアから協力を得ている。 ③(改善済み)スポーツ推進課職員に実行委員を務めていただき、当該大会の運営にご協力をいただいている。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		本事業は長年にわたり障害者のレクリエーション活動を通じて社会参加、交流を深めることを目的に継続して実施している。例年参加者数も1000人を超えており、一定水準のニーズを保ちながら適切に実施されている。今後もこれらのニーズに応え、障害者の社会参加、交流を促していくためには現状を維持した大会の開催が求められていると考えられる。		